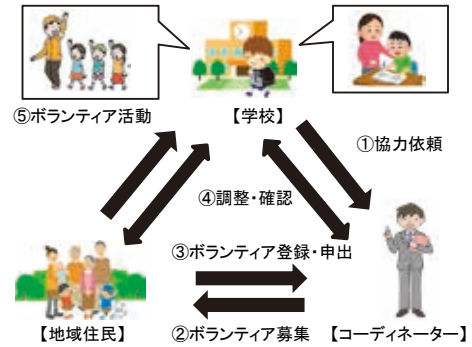


学校・地域が連携した、郷土の特色を生かす命の教育活動

鹿児島県志布志市	● 活動名	● 関係する学校名
	通山小学校学校応援団	志布志市立通山小学校

開始年度	平成 23 年度	学級数	7 学級	児童・生徒数	164 人
活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援活動 <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の安全確保 <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ()				
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 0 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 1 人	連携団体・企業等	
ボランティアの数	登録人数 32 人	属性	保護者、地域住民		
参考 URL	http://424.ciao.jp/tooriyama-els/				

● 体制図



● 連絡先 志布志市立通山小学校 ☎ 099-477-0555

● 活動の概要・経緯

○ 通山校区では、地域の方々が孵化させた子ガメを児童が放流する活動を数十年にわたって続けてきた。これを受けて、校区の教育資源をもっと有効に活用しようということで、平成 19 年に「亀の子クラブ」が発足し、校内にウミガメの孵化場を設置して卵を移し、観察や孵化後の放流などを行うようになった。また、平成 29 年度からは「総合的な学習の時間」に位置付け、全ての子どもたちがウミガメ保護活動を通じた学習ができるようにした。

○ 学校は低地にあり、幹線道路で交通量が多いため、高い安全意識をもつことが必要である。そこで、地域の方々や関係機関との連携のもと、定期的に津波避難訓練や交通安全指導を行ったり、日頃の安全管理を十分行ったりするようにした。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- 1 「ウミガメの保護活動」については、ゲストティーチャーとして県自然保護推進員や地元のウミガメ保護監視員の方々を招き、専門的な内容の講話や体験活動を通して、ウミガメが上陸する郷土のよさや自然の素晴らしさに気付かせるようにしている。
- 2 ウミガメの産卵は深夜が多いため、採卵は地域の方々をお願いして学校の孵化場へ運んでいただいている。また、孵化後の放流については、メール配信システム「かめーる」を使って広く呼びかけ、学校近くの押切海岸で行っている。さらに、毎年地元のケーブルテレビや新聞等に活動の様子を広報してもらっている。
- 3 「自分の命は自分で守る」を合言葉に、児童自ら危険を察知し、安全に行動する能力や態度を育てるために、4つの視点（①学校防災マニュアルの見直し・改善②実践的な避難訓練③防災学習④地域・関係機関との連携）に沿って実践的な防災教育を推進している。交通安全協会や青色パトロール隊の方々には、より実践的な津波避難訓練を行うために一緒に訓練に参加し、誘導や校外避難経路要所への立哨をお願いして、児童の安全確保に努めてもらっている。また、日常的にも毎朝の登校時に通学路で立哨指導しており、児童の安全確保を担っている。

【実施にあたっての工夫】

「命を大切に」「郷土を愛する」心を育てるために、学校支援活動をとおして地域の方々と直にふれあい、地域の課題を共有する機会をできるだけ多くもつよう工夫している。

● 事業を実施しての効果・成果

- 1 ふるさとの海に上陸するウミガメの保護活動を通して、命あるものを大切にする心が育ってきている。また、教育課程に位置付けたことで、保護者や地域住民も巻き込んだ活動になりつつある。さらに、放流活動においては他校からの参加者も見受けられ、互いのコミュニケーション能力の向上にも寄与できている。
- 2 地域・関係機関の協力を得ながら取り組んできたことで、本校の実情を踏まえた防災マニュアルが作成できたとともに、児童がその場に応じた避難行動を取れるようになった。また、学校便りやPTA新聞でも取組を紹介し、保護者・地域の防災に対する意識が高まってきている。さらに、児童を安全に保護者に引き渡す手立てやルールが確立できた。

● その他

- 学校HPで、活動の様子を随時配信
- 平成 24 年、25 年度防災教育モデル実践校（県ホームページで取組を紹介）



太平洋に向かって放流



高台への一斉避難（中島坂）

ポイント

ふるさとの海に上陸するウミガメの保護活動を総合的な学習の時間に位置付けており、保護者や地域も巻き込んだ活動になっていますね。「自分の命は自分で守る」を合言葉とした津波避難訓練も素晴らしいです。